

vario^{iP} PoE



Discovery Tool(検出ツール) 操作ガイド

目 次

■はじめに	3
■システム要件	3
■ハードウェア要件	3
■ソフトダウンロード先	3
■インストールの手引き	4
■Discovery Tool（検出ツール）を使用する	6
①投光器検出	6
②ネットワーク設定	8
③状態情報と構成	10
④Discovery Tool（検出ツール）の詳細	11
■トラブルシューティング	12

■はじめに

Vario 2 IPPoE は、ウェブインターフェイスを備えたネットワーク投光器です。Raytec Discovery Tool（検出ツール）にて、ネットワーク上の投光器を簡単に検出することができます。本取扱説明書では、Raytec Vario 2 IP PoE モデルの検出、システム診断等を行う Discovery Tool（検出ツール）について説明しております。

■システム要件

- .net framework 4 および 4.5
- Vario IP ファームウェアバージョン 1.3 以上

■ハードウェア要件

- Windows 7 以上（インターネットエクスプローラー IE9 かそれと同等のブラウザ）
- Windows Server 2008 以上
- HDD 空き容量 10MB
- 主メモリ 128MB

■ソフトダウンロード先

Raytec Discovery Tool は、以下の URL にアクセスしてソフトをダウンロードしてください。

optex vario ippoe ダウンロード

※ダウンロードサイト URL

http://www.optex.co.jp/sec/business/raytec_vario/ippoe/download.html

■インストールの手引き

注意>>

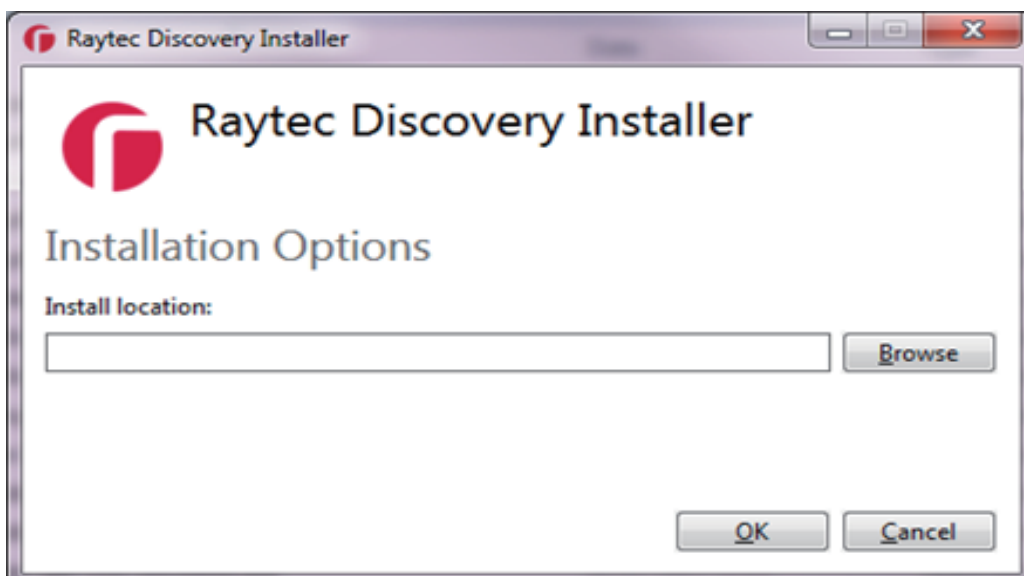
本プログラムをインストールするには、管理者としてログオンする必要があります。

システム上で開いているプログラムをすべて閉じ、Discovery Tool（検出ツール）のインストーラーをダブルクリックして開きます。

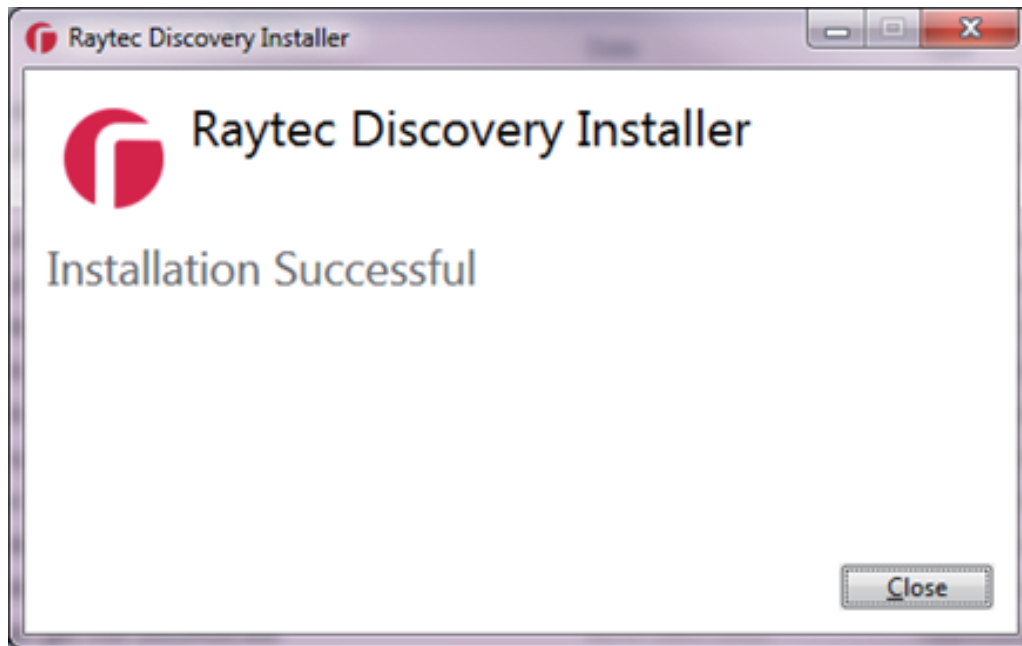


Discovery Tool（検出ツール）をインストールするには、[I agree to the licence terms and conditions(ライセンス条項と条件に同意する)]にチェック入れ、[Install(インストール)]をクリックします。

必要に応じてインストール場所を変更することもできます。変更するには [Option(オプション)] ボタンをクリックしてインストール場所を設定します。変更は任意です。工場出荷値では、Program Files フォルダの Raytec Limited ¥ Raytec Discovery にインストールされます。

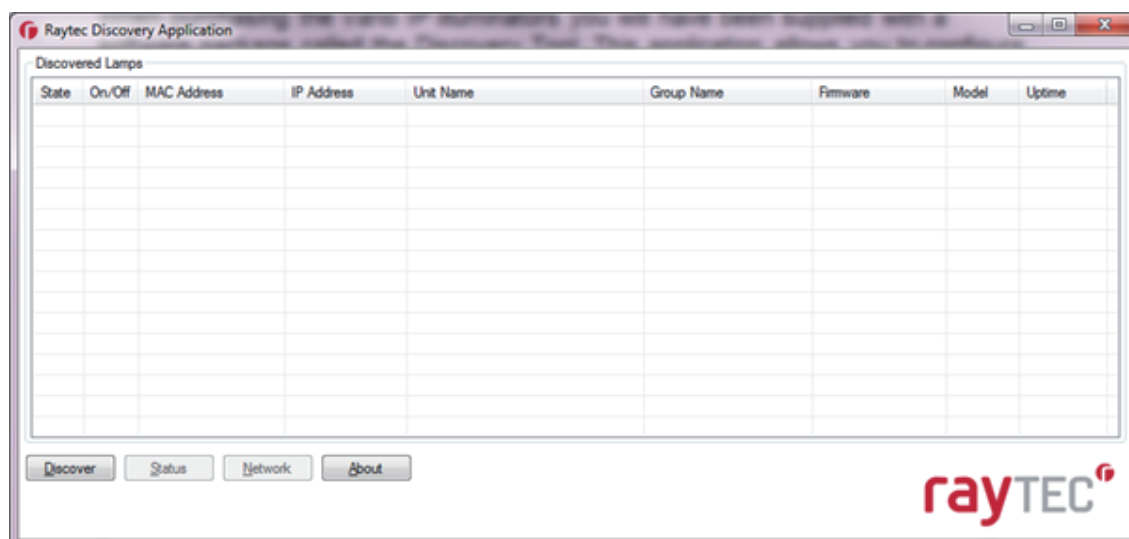


インストール終了後、[Close(閉じる)] ボタンをクリックすると、Discovery Tool（検出ツール）のインストールが正常に完了します。



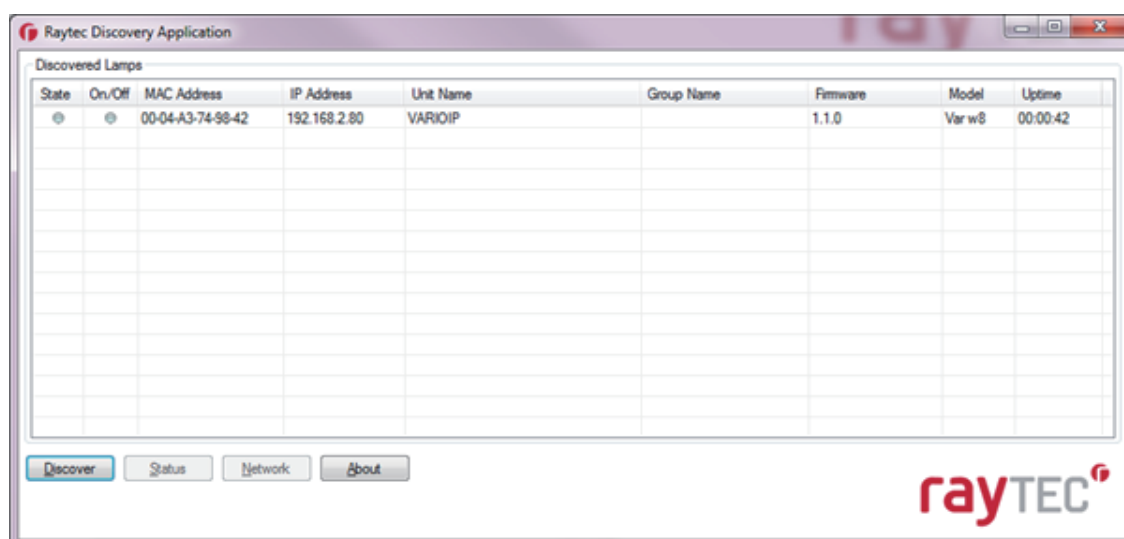
■Discovery Tool（検出ツール）を使用する

Discovery Tool（検出ツール）を起動するには、[スタート]-[すべてのプログラム]-[Raytec Discovery]-[Raytec Discovery]の順にクリックします。



①投光器検出

[Discovery(検出)] ボタンをクリックすると、ネットワーク上のすべての Vario 2 IP PoE が一覧表示されます。



工場出荷値では、新しい投光器の名称は VARIOIP、IP アドレスは 192.168.2.80、グループ名はなしとなっています。お使いのインストール環境で使用するには、有効なネットワーク設定と名称に変更する必要があります。

●State(状態)

Vario 2 IP PoE の現在の状態を示します。詳細についてはトラブルシューティングのセクションを参照してください。

緑色：投光器が正常に動作

灰色：投光器との通信ができていない状態

赤色：投光器の LED 故障

●On/Off

投光器の点灯／消灯の状態を表示します。

●MAC Adress(MAC アドレス)

選択した投光器の MAC アドレスです。変更することはできません。

●IP Adress(IP アドレス)

投光器の現在の IP アドレスです。ネットワーク設定画面で変更ができます。

●Unit Name(投光器の名称)

投光器の名称です。工場出荷値では、VARIOIP という名称になっています。

Unit Details 画面の Unit Information 部分で変更できます。

●Group Name(グループ名)

投光器が属するグループの名称です。デフォルトでは、グループ名なしで出荷されています。

Unit Details 画面の Unit Information 部分で変更できます。

●Firmware(ファームウェア)

投光器の現在のファームウェアバージョンを表示します。

●Model(型番)

投光器の型番です。

●Uptime(動作時間)

投光器が最後にリセットされてから現在までの時間です。動作時間のリセットは、投光器の電源オフ→オンまたはネットワーク設定の変更時に発生します。

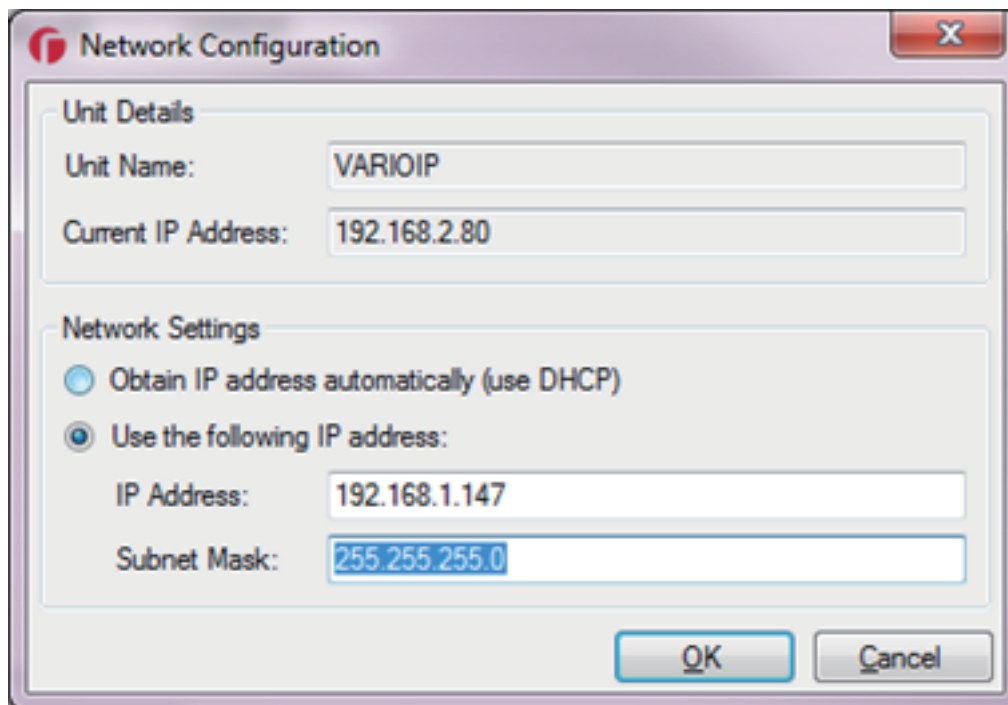
投光器ウェブブラウザの起動

Discovery Tool (検出ツール) のリストから対象の投光器をダブルクリックすると、お使いのウェブブラウザで、投光器を遠隔操作する専用ウェブブラウザを開くことができます。

これによって、お使いのネットワーク上の投光器にアクセスし簡単に設定や手動操作することができます。投光器の設定や手動操作の詳細については、専用ウェブブラウザ操作ガイドを参照してください。

②ネットワーク設定

設定したい投光器をリストから選択し、[Network(ネットワーク)] ボタンをクリックすると次のようなウィンドウが表示されます。



以下の2種類からお選びください。

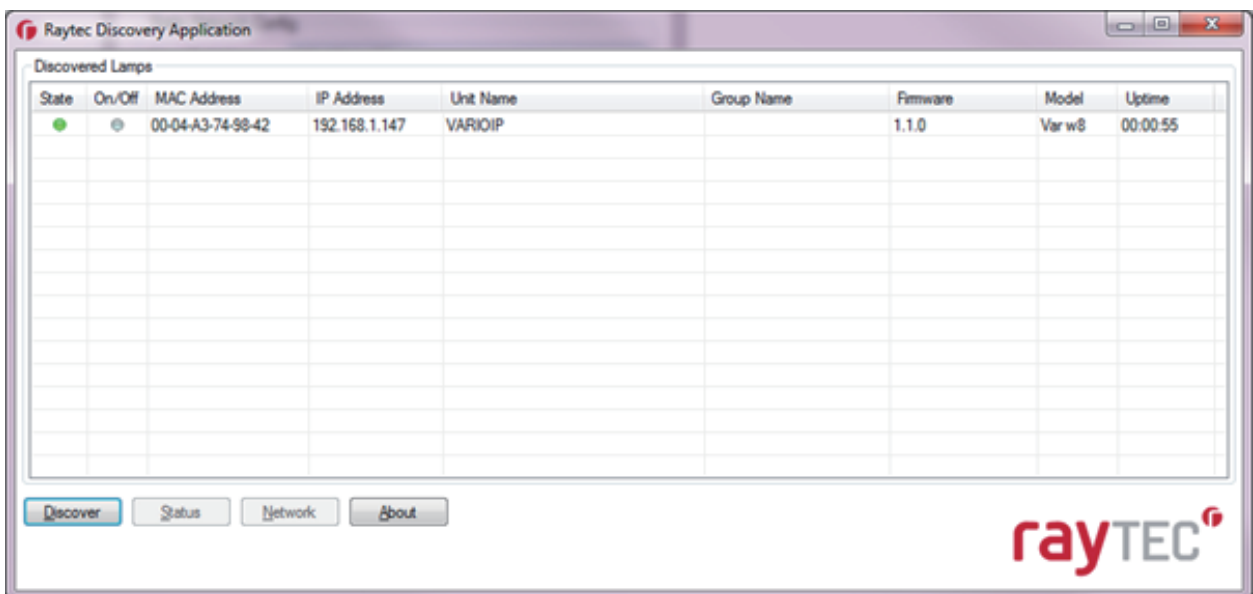
●Obtain IP address automatically(use DHCP)(IP アドレスを自動取得 (DHCP を使用))
このオプションを選択した場合、投光器はお使いのネットワーク上の DHCP サーバーに対してネットワーク設定を要求します。なお、この設定を使用した場合、IP アドレスが変わる事がございますので、ご注意ください。

●Use the following IP address(以下の IP アドレスを使用)
特定の IP アドレスとサブネットマスクを指定し、変更されない限りネットワーク設定が保持されます。お使いのネットワーク上で必ず一意の IP アドレスを指定する必要があります。重複した場合、不具合が発生する恐れがあります。[IP Address(IP アドレス)] 欄に IP アドレスを入力してください。入力しない場合、サブネットマスクが自動的に設定されます。新しいサブネットマスクは、ネットワーク設定に適合するかどうか設定する前に必ず検証してください。

いずれの場合も、ネットワークに必要な設定についてネットワーク管理者に確認する必要があります。投光器を正しく設定するために、事前にネットワーク管理者へお問合せください。

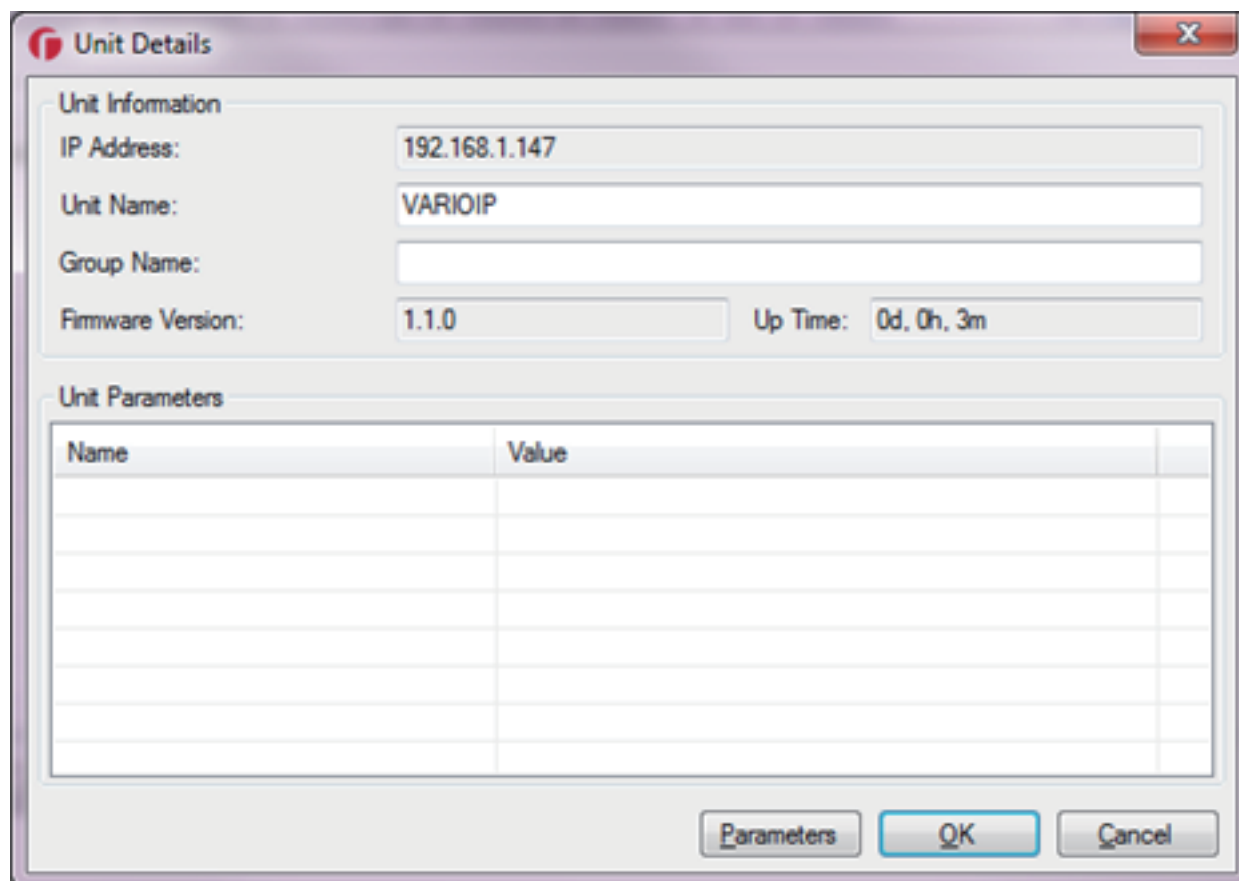
入力後、[OK] をクリックすると、投光器ネットワークが再構築され、通信が一時的に切れることを通知するメッセージが表示されますが、その後しばらくすると、Discovery Tool（検出ツール）のメインウィンドウに戻ります。投光器が再表示されるまで最大1分かかります。再表示までの時間はネットワークの規模や変更した設定の内容によって変わります。

再度 [Discover(検出)] ボタンをクリックするとネットワーク設定の変更がリストに反映されます。



③状態情報と構成

設定したい投光器をリストから選択し、[Status(状態)] ボタンをクリックします。選択した投光器と直接通信できない場合、状態情報の表示や編集ができないことを通知するメッセージが表示されます。



The image shows a 'Unit Details' dialog box with the following fields and sections:

- Unit Information**
 - IP Address: 192.168.1.147
 - Unit Name: VARIOIP
 - Group Name: (empty)
 - Firmware Version: 1.1.0
 - Up Time: 0d, 0h, 3m
- Unit Parameters**

Name	Value

Buttons at the bottom: Parameters, OK, Cancel.

このリストで投光器の名称やグループ名を変更できますが、ネットワーク設定画面同様、[OK] をクリックするまで変更内容は反映されません。

●Unit Name(投光器の名称)

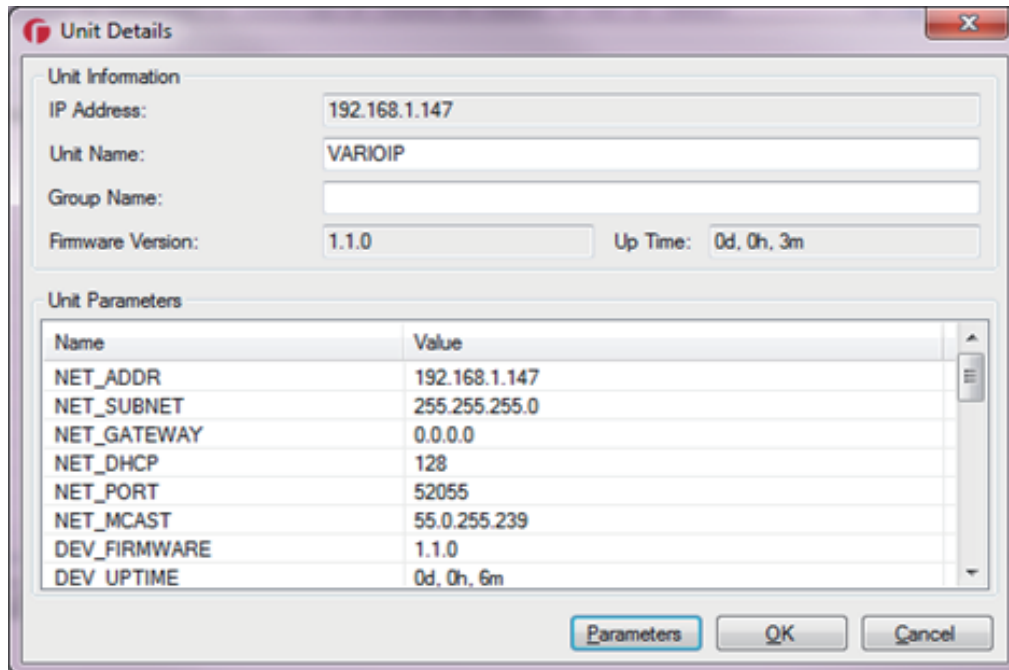
投光器の名称はネットワーク上で一意の名称とし、設置場所や役割がわかる名前にする必要があります。投光器の名称は、ネットワーク上で他の投光器と通信するために使用します。

●Group Name(グループ名)

グループ名は空白でもかまいません。空白の場合、投光器はネットワーク上のどのグループにも属していないこととなります。グループ名を設定すると、特定の投光器群をまとめて操作できるようになります。グループの使用に関する情報は、専用ウェブ操作ガイドに記載されています。

Parameters(パラメーター)

[Parameters(パラメーター)] ボタンを押すと、選択した投光器の現在の設定が [Unit Parameters(ユニットパラメーター)] リストに表示されます。投光器の設定情報を簡単に確認することができます。



表示された情報は、ネットワークの障害検出や診断にご使用ください。

④Discovery Tool (検出ツール) の詳細

[About(この製品について)] ボタンをクリックすると Discovery Tool (検出ツール) の現在のバージョンを確認することができます。



■トラブルシューティング

Vario 2 IP PoE の接続や設定で問題が発生した場合、本セクションのトラブルシューティングのヒントを参照してください。それでも、上手くいかない場合、当社のサポートまでお問合せください。

●Vario 2 IP PoE が表示されない

- Discovery Tool (検出ツール) を使用しているコンピューターを再起動する。
- Discovery Tool (検出ツール) を使用しているデバイスのネットワーク接続が、同じネットワークであることを確認する。
- 通信を遮断するファイアウォールがないことを確認する。
- 別のコンピューター上で Raytec Discovery Tool が動作するかを確認する。

●Vario 2 IP PoE は表示されるが状態表示が灰色

- Discovery Tool (検出ツール) を使用しているネットワーク上で他のコンピューターがないことを確認する。
- Discovery Tool (検出ツール) を使用しているコンピューターを再起動する。
- Discovery Tool (検出ツール) を使用しているコンピューターと Vario 2 IP PoE が同じサブネット上にあることを確認する。
- 同じ IP アドレスを持つ Vario 2 IP PoE がないことを確認する。
- 通信を遮断するファイアウォールがないことを確認する。

オプテックス株式会社 <http://www.optex.co.jp/sec/>

本社 〒520-0101 滋賀県大津市雄琴 5-8-12
TEL: (077)579-8004 FAX: (077)579-8170

東京営業所 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-14-1 新宿グリーンタワービル 19F
TEL: (03)3344-5771 FAX: (03)3344-5734

Copyright (C) 2015 OPTEX CO., LTD.